



古瀬 秀則 さん  
(畑沢)

常盤スポーツ少年団に  
参加して

今年の春まで、常盤スポーツ少年団に所属しておりました。子供だけでなく親も一緒に教育させていただいたことに、大変感謝しています。(ちなみに常盤地区のスキーは、小～中学校まで最長9年間、スポ少に所属できるようになっています。)

常盤スポ少で、子供達の指導に最も重視していることは「挨拶」です。「挨拶」はどんな場面でも本場に大切なことです。娘の高校の卒業式でも、来賓祝辞で「挨拶は人と人とを結びつける大切なコミュニケーションで、大人になっても重要なこと」と、高校ですら再教育しているほどです。それを子供の頃から、指導者の方や地域の方から指導していただけたことは有難いです。

とです。さらに、機会あることに叱咤激励を受けながら、地域の方々と深い関わりを持てたことも将来生きて行く上で、大きな財産になることでしょう。

そのほかにも、時間の使い方を教えていただいたと思います。スポ少に入れば、もちろん家族の協力や自分なりに時間を有効に使うための段取りや努力が必要になってきます。どんな人でも毎日仕事や農作業で何かと忙しいものです。「忙しくて」が口癖の方もいると思います。私もそうでした。でもスポ少に関わってからは、どのように時間をやり繰りすれば練習の送迎や大会の応援に参加することができるか、そのために物事をいかに手際よくこなして時間を作り出せるか工夫するようになりました。

このように、スポ少活動を通して親子共々訓えて頂いたことも大変感謝しています。また、各地区にこのような素晴らしい団体は多数あり、未永く存続していただきたいと思います。

最後にお願ひとなりますが、現在市内の教職員の子供さん達も、いろいろな大会での活躍が期待されています。しかし、どうしても我が子より担任されているクラスの子供達のこと、勤務されている学校のことを優先されて、監督やコーチの方々そして、随行される先生や保護者の方々へ頼んでやるなど遠慮がちになっているのが実情ではないでしょうか。大きな大

人のこゝろ

表彰

◎20年以上表彰  
大類 準一 議員

全国市議会議長会から、永年市の発展に尽された功績により表彰されました。

インターネットで  
本会議の中継を  
視聴しよう!!

インターネットで9月の定例会から、市議会本会議を「生中継」する予定です。  
また、後日録画も公開いたします。

あつがき

あつと言う間に季節は移り変わるものですね。春の山菜まつりでは、このうえなく美味な山の幸をいただいで豪雪の冬をのりきったご褒美を尾花沢全部で感じていたら、もう暑い夏まつりの季節をむかえようとしています。スイカの生育も順調で暑い暑い夏が待ち遠しいかぎりです。待ち遠しいといえば、次回の9月定例会では、尾花沢市議会において初めてのインターネット中継と録画配信が予定されています。

直接議場にこられない方も職場やご家庭から議会の中継を受信できます。議員一人一人が市民のみなさまの声を届けるためにがんばっています。インターネットに接続できる環境にある方は、ぜひご視聴いただければ幸いに存じます。(塩原未知子)

市議会だより編集委員

- ◎大類 好彦 ○塩原未知子
- 菅野 修一 武田 佳久
- 青野 隆一 星川 睦子
- 小関 英子

◎委員長 ○副委員長

発行／山形県尾花沢市議会  
編集／市議会だより編集委員会

おばなざわ  
市議会だより

第74号/平成24年7月15日

尾花沢中学校吹奏楽部

第31回定期演奏会

コバエリオンホール



# 平成24年度 一般会計補正予算 2億2,556万円 災害復旧費に1億5,700万円を追加

## 議会案 「村山総合支庁北庁舎の充実と機能強化を求める意見書」を提出

平成24年6月定例会が6月12日から19日まで開催されました。12日に市長より市政概況報告があり、一般会計補正予算（2億2,556万円追加）を中心に、条例の改正や人権擁護委員の推薦についてなどを慎重に審議し、全ての議案を原案の通り可決しました。一般質問は7議員が登壇し、市当局の考えをただしました。

### 4月臨時会

#### 「議案の主な内容」

- ◎23年度一般会計補正予算
  - ・新鶴子ダム受益者負担償還対策基金 2億6千万円
- ◎24年度一般会計補正予算
  - ・豪雪被害を受けた農業用施設に対する助成 675万円
  - ・水稲育苗用地およびスイカ圃場用地確保に対する助成 257万円
  - ・除排雪経費 6千万円 など

#### 議案の審議

- 質 台湾誘客プロモーション商談参加負担金について、どのような内容か。
- 答 台湾チャーター便を利用して震災で減った客を取り戻すばかりでなく一年を通しての誘客のため県主催のPRに参加するものです。
- 質 再生可能エネルギー導入費について、どのようなものか。



台湾(台北市)で尾花沢をPR

- 答 国の再生可能エネルギーなど導入地方公共団体支援基金事業で、当市配分は9千200万円です。
- 質 徳良湖にマイクロ水力発電を設置するという計画であるが、設置場所として適当か。
- 答 検証実験として設置するものであり、蓄電池設備も設ける予定です。関係機関と協議を進めます。
- 質 市道の補修工事を早急に実施すべきではないか。
- 答 大きな市道工事と2m四方くらいの張替えをするパッチング工事数十箇所をすでに発注しました。今後も対策を進める予定です。

### 6月定例会

#### 「議案の主な内容」

- ◎24年度一般会計補正予算
  - ・災害復旧費 1億5千700万円（計2億2千530万円）
  - ・路線バス運行費 1千166万円（計4千365万円）
  - ・農林水産業費 4千552万円（計9億7千272万円） など

#### 補正予算の審議

- 質 市営バス市野々線が中型バスに替わるのに伴い、岩谷沢、中刈への運行を検討してはどうか。
- 答 道幅などいくつか課題があるので、検討します。
- 質 市営バス市野々線について、路線バスが運行できる幅員が取れるようにしていただきたい。バス

#### ◆ 請願の審査結果 ◆

##### 採択された請願

- 平成24年請願第8号  
◎村山総合支庁北庁舎を充実し地域づくりの拠点として機能強化を図るよう県に対して「意見書」の提出を求める請願
- 医療・教育の充実と北庁舎の存続を求める北村山地区県民の会 会長 池田 俊郎
- 平成24年請願第2号  
◎二藤袋地区水道整備に関する請願（平成24年3月定例会継続審査分）
- 二藤袋第2区長 大山弘一郎
- 二藤袋第1区長 大山 哲夫

#### ◆ 意見書の審査結果 ◆

##### 可決された意見書

- 議会案第5号  
◎村山総合支庁北庁舎の機能強化を求める意見書
- 北庁舎の機能が著しく縮小されてしまえば、将来的には各窓口廃止につながりかねない極めて重大な問題です。北庁舎の機能が縮小することは、地域経済・文化の衰退、過疎化に拍車をかけるものです。身近な県政として「県民視点」「現場重視」「対話主義」に立って北庁舎を充実し、機能強化を要望する意見書です。

は耐用年数・耐久性を考えると、リアタイプエンジン方式の方が良いのではないかと。中刈丁字路の50mについて、7～8mの幅員工事を今年度中に着工します。路線バスのエンジンについては、検討いたします。

質 農林水産業経費について、農地・水・環境保全の総面積はいかに増えているのか。

答 本年度新たに6団体が加わり総面積は1千307haとなっています。質 森のホテル御所山の通称名を削除し、「花笠高原荘」にすることに、その趣旨を市民に周知を図るとともに、本来の農林漁業体験実習館として運営してはどうか。

答 施設を作ったころの時代とは大きく変化してきています。市民の声を聞き、名称変更に沿った施設運営の改善に努めていきます。



8月1日より手づくり工房「森のめぐみ」に変更

#### 芭蕉の真筆を購入

芭蕉が出羽鶴岡の岸本八郎兵衛に宛てた手紙の一通を市が所蔵していますが、さらにもう一通を購入することになりました。芭蕉清風歴史資料館において、7月17日まで来訪展で展示されます。



平成24年度購入の芭蕉真筆

#### 不採択となった請願

- ◎年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願
- 全日本年金者組合
- 北村山支部長 板垣とも子
- 菅藤清一郎
- 吉田 春夫

#### 継続審査される請願

- 平成24年請願第9号  
◎脳脊髄液減少症の医療に関する請願
- 脳脊髄液減少症友の会
- 代表 荒川ミキ子



村山総合支庁北庁舎1階にて



塩原未知子 議員

### 参加して楽しい 花笠まつりの実現を

**質** 多すぎるまつり行事やイベントに関して、今年度開催される行事の改善はなされたか。

**市長** 本来、市民自らが楽しみ、積極的に参加できるようなまつりであるべきだというのが基本的にあります。この考えをもとに現在の市のまつりやイベントなどを一度整理しながら、これからの当市のまつりイベントなどを再考すべきではないかと考えています。

**質** おばなざわ花笠まつりの運営体制と、平日開催されるまつりの広報はどうなっているのか。

**市長** まつりを実施している団体は四大まつり実行委員会の「おばなざわ花笠まつり部会」が実施主体であり、まつり行列を担当している「まつり行列運営委員会」と、花笠踊りパレードを担当している「花笠パレード部会」の二つの組織で構成されています。

**質** 尾花沢地区の「地域の宝」発掘プロジェクトを通じて、今年度開催される行事の改善はなされたか。

**市長** 「地域の宝」発掘事業は、21年度から実施しています。地区の史跡や伝統行事などをみんなで探し、お宝マップなどを作っています。本町地区はさまざまなお宝が多くあると思われれますので、まちづくりを活かすよう、市の地域づくり交付金の活用をお願いします。



**質** プロジェクトを今後行う予定はあるのか。

**市長** ホームページを通して、最新情報を発信するため、情報内容の見直しと更新作業を進めています。携帯電話やスマートフォン活用については、現在災害発生時にエリアメールで「災害・避難情報」を配信しています。今後とも、広報活動を充実するとともに、情報伝達方法などを研究していきます。



菅野修一 議員

### 本市農業の振興について

**質** 風評被害によって雪降り和牛をはじめ、尾花沢産牛の販売価格が大打撃を受けている。今後の販売戦略をどう描いているか。

**市長** 原発事故発生以降の市場価格は1〜2割程度低くなっています。他産地との差別化を図るため「雪降り和牛尾花沢」の産地証明書を発行し、首都圏での試食会を実施して、トップセールスによる新規ファンや取扱指定店の拡大を図ります。また、海外への販路拡大も図っていきます。

**質** 市独自の農業担い手対策として農業新規参入者支援事業は人・農地プランの青年就農給付金などの要件より緩和して実施したいとの考えだが、ひとりでも多くの新規就農者ができるように、適合ハードルを低くすべきと思うがどうか。

**市長** 国の要件はクリアできないが就農意欲の喚起と就農後の安定経営を図るため、市独自に原則45歳未満の独立・自営就農者に月額8万円を最長3年間支給する制度をつくり支援していきます。

**質** 国の指定史跡である。市内小中学生を対象に移動教室などで、この史跡学習を実施すべきではないか。

**市長** 延沢城址は本市を代表する歴史遺産の一つであり、小学3年生の社会科副読本「わたしたちの尾花沢市」の中、「かわつてきた人々のくらし」でも、市に残る古いものとして銀山遺跡などとともに紹介されていますが、学習対象として定着していない状況です。より一層の研究調査が進められることを望むとともに、市内各学校への紹介もかけていきます。

**質** 延沢城二代目城主、能登守満延公の着用した鎧を本市の重要文化財としてもとめてはどうか。

**市長** 以前、寒河江市の有形文化財に指定されていましたが、所有者が逝去された後は行方がわからなくなっています。延沢能登守の鎧は大変貴重な文化財ですが、まずはその所在の判明を待たないのが現状ですので、今後も情報収集に努めていきます。



小関英子 議員

### 「ドクターヘリ」 導入への対応

**質** 緊急時安心カードの活用と緊急通報システムの利用拡大についてどのように考えるか。

**市長** 救急時の安心を確保するため、本人情報・連絡先・薬剤情報を記入するカードと容器を10月頃に配布予定です。

**質** 緊急通報システムは、さまざまなし스템について調査研究をしていきます。

**質** ポリオワクチンの接種についてどのように取組むか。

**市長** ポリオ予防接種は、本年9月より生ワクチンによる経口接種から不活化ワクチンによる皮下注射接種となります。

**質** 広域救急救命医療ドクターヘリ導入への対応はどうか。

**市長** ドクターヘリは、消防機関からの出動要請にもとづき救急医が搭乗し救急現場に駆けつけ、救命処置を行い病院に搬送します。尾花沢市ではランデブーポイントの候補地として消防署の訓練場を始め、各小中学校のグラウンドなど18カ所を申請しています。就航に係る周知は現在、県でパンフレット・チラシなどを作成、市町

村を通じて配布し、県の担当者による説明会を開催していきます。

**質** 「ブックスタート」に加えて、また子供達の成長にあわせて図書贈呈を推進してはどうか。

**教育長** 各学校では、読書で子どもを育てる「読育」の活動に力を入れていきます。また、小学校を中心に読み聞かせボランティアの活用などで本に親しむ機会をより多く設定しているところです。節目における本の贈呈につきましては、学校統合の進捗状況を見ながら、関係各課で検討します。

**質** 尾花沢の暑い夏を健康で元気に乗り切るために熱中症計やゴーヤのグリーンカーテンを導入してはどうか。

**市長** 天気予報や湿度計、またはチェッカーなどを使用して、迅速に予防や指導を行っています。手軽にできる暑さ対策として、グリーンカーテンは有効なものと考えています。

庁舎東側に、あさがおとゴーヤのグリーンカーテンを実施していきます。



星川睦子 議員

### 原発事故対策について さらに取組み強化を

**質** 東北観光博が好評であり、台湾誘客活動も実施されたので観光ボランティアガイドの組織づくりを強化してはどうか。

**市長** 市の観光という点から、訪れた方が食事したり買い物をする際に気軽に案内できるような体制作りが重要です。そのため雇用創造協議会のセミナーを活用し、飲食店や商店などで観光案内のできる人材育成を図ることが望ましいと考えています。

**質** 原発事故対策の現状と今後について次の点はどうか。

- ① 県産稲わらの確保状況
- ② ガレキ処理受入れを進めてはどうか
- ③ 宝栄牧場の放射能検査を定期的

**市長** ① 県の「緊急県産稲わら確保対策事業」を活用し、収集面積を20haまで拡大しました。今年度も収集機械の導入や保管庫の整備を予定しています。

② 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合が所有する埋立地は約4万㎡埋立て可能ですが、すでに6割埋

まっています。できる限り協力したいですが、現状から困難と考えるています。

③ 牧草の放射能検査は県内4地域で実施し、不検出です。

**質** (株)ふるさと振興公社について、市の厳しい財政状況下で、公社の独立採算を促すべきと考えることから、次の点はどうか。

- ① 森のホテルを通年営業に戻す考えはないか
- ② 迅速な対応を図るためにも、設備修繕は公社が負担すべき
- ③ 透明性・客観性のある評価を示すべき

**市長** 昨年、外部委員を含めた検討委員会を開催し、見直し作業を行いました。改善案に沿った運営がスタートしたところであり、運営改善検討委員会を設けて、花笠高原施設および徳良湖周辺施設などの健全運営にむけた指導をしていきます。設備修繕は、軽微なものを除き市で対応しています。評価に関しては、年間トータルでの黒字決算を目標に、検証・指導していきます。

**質** 市民が安全安心して生活するため、空き家対策の条例を早くつくる必要があると考えるがどうか。

**市長** 適正に管理されない空き家の増加は、周辺住民の生活に影響を及ぼすなど、全国的な問題となつていきます。本市において今冬の大雪で損壊した空き家があり、所有者や管理者に対して適正に管理されるよう指導しているところです。

国に対しての法制度の整備を要望するとともに、現在、県と市町村による「空き家対策検討会」が開催されていますので、会議の推移を見ながら検討していきます。

**質** 市民が参加しやすい「おばなざわ花笠まつり」にする政策は。

**市長** 今年度の「おばなざわ花笠まつり」は平日開催となることから、市としても少しでも多くの方々から来ていただけるよう、関係者にご協力を願うとともに、さまざまな場面での広報PR活動に努めていきます。

具体的な内容については実行委員会や行列部会、パレード部会で協議することとしています。



石塚ミツ子 議員

遅れている生活排水処理施設の早急な進展を

**質** 県下一遅れていた生活排水処理施設整備、県では県内の整備促進のため補助を再開した。県は整備率を平成27年度まで91%を目指すとしているが、当市では4年後何%を目標にするのか。個人設置者に県からの補助分いくら負担を減らすのか。

**市長** 事業を推進した結果、平成22年度末で60.3%となり、10年間で54.5%改善しました。平成23年度中の合併浄化槽整備は124基です。県においては、平成27年度までの期限措置として、一般地区の合併浄化槽設置者の負担のおおむね2割を補助する制度が設置され、上限額は、5人槽については16万円、6人槽以上については20万円です。平成24年度から平成27年度までの整備は、指定地区360基、一般地区80基を計画しており、この計画にそつた事業の進捗と、県の制度の活用により、整備率85%を目標としています。

**質** 10年前6.7%であった整備率100%にするまで40年かかると言っていたが現在61%まで引き上げました。

浄化能力は公共下水道や農集排と変わらないし、お金もケタ違いに安い合併浄化槽に比重を置いて整備してきたためと思う。残された整備も極力合併浄化槽方式で整備率を早急に引き上げてはどうか。

**市長** 今後は、市民に対し県の制度の周知を図り、合併浄化槽補助金の確保や補助内容の充実について、県に働きかけ、整備促進に努めます。

**質** 国保を県単位とする広域化をなぜ進めるのか。そのことで国保税の引き上げを抑えられたり、滞納者が減つたり、差し押さえの急増に歯止めがかけられるのか。

**市長** 当市の国保加入者数は年々減少しており、年齢階層は上昇傾向にあります。

他方、医療の高度化などにより被保険者一人当たりの医療費は伸びている実態にあります。

このため、市としてはこれからの動向に注視し、さらなる国の財政支援をもとめるとともに、脆弱な国保運営基盤の強化に向け広域化を推進するものです。

可決された議案

4月臨時会

- 承第4号 平成23年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認について
- 承第5号 平成23年度一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認について
- 承第6号 平成23年度尾花沢市国民健康保健特別会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について
- 承第7号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について
- 承第8号 尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について
- 承第9号 平成24年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について
- 議第43号 平成24年度一般会計補正予算(第2号)
- 議第44号 尾花沢市国民健康保健税条例の一部を改正する条例の制定について

6月定例会

- 議第45号 平成24年度一般会計補正予算(第3号)
- 議第46号 尾花沢市印鑑の登録及び証明に関する条例及び尾花沢市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第47号 尾花沢市花笠高原施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第48号 人権擁護委員の推薦について

議会案

- 議会案第4号 議員派遣について
- 議会案第5号 村山総合支庁北庁舎の充実と機能強化を求める意見書の提出について



大類好彦 議員

空家対策を早急に

**質** 商店街活性化対策について、プレミアム商品券とそれ以外の施策は何か。

**市長** プレミア付き商品券につきましては第7弾として4月29日に2千500セットを好評のうちに販売しました。第8弾については、10月開催予定のまるだし尾花沢まつりに合わせて販売する予定です。

これまで商店街においては、朝市、元氣おばね祭り、高齢者世帯の宅配・安否確認を重視した御用聞きサービスなど、これまで工夫を凝らしたさまざまな取り組みを実施しています。

今後、商店街、商店街協同組合などと連携を強化しながら支援していきたいと考えています。

**質** 平日に市役所に来られない市民のために、日曜日役所を半日だけ開設してはどうか。

**市長** 住民ニーズにそつた行政サービスを図るため、現在、電話予約により午後6時15分まで延長して諸証明書の交付を行っています。他市町の日曜日役所の開設状況も調査しながら、その際の課題や職員勤務体制を研究していきます。

**質** 国の農業施策は、戸別所得補償や農地の集約化を進め、大規模農業へ向かっているが、市長の考えはどうか。

**市長** 農業従事者の高齢化や農地の担い手不足などにより耕作放棄地の増加が懸念されますが、担い手の育成や農地の流動化を図り、農家の規模拡大とあわせ農作業の省力化を進めています。また、小規模農家に対しても戸別所得補償制度などの補助制度を効果的に活用し、農業所得の向上に努めます。

**質** 新鶴子ダム、頭首工及び幹線用水路などの機能を維持するため、土地改良区で国営施設機能保全事業を進めようとしているが、農家負担の軽減について、市の考えを



奥山 格 議員

今年の本市の農業について

**質** 農業集落排水事業は、宮沢西部地区を最後に合併処理浄化槽に転換されているが、汚泥などの一括処理・リサイクルも可能であり、補助や起債もあるので、事業手法の再検討してはどうか。

**市長** 農業集落排水事業は、これまで牛房野地区、毒沢地区、宮沢西部地区で実施しており、総事業費は23億3千400万円、1戸あたりが約460万円、1人当たり約127万円が高額です。

接続率は、宮沢西部地区は52.2%と低く、費用対効果や完了後の維持管理費用など多角的に検討した結果、合併浄化槽設置補助による生活排水対策に転換しています。県の新たな制度も活用し、合併浄化槽設置を推進していきます。

お聞きしたい。

**市長** 総事業費29億円の予定であり諸経費6億円を除く23億円に対し農家負担が発生します。国のガイドラインでは、農家負担が10.34%となつていますが、農家負担が2.34%となるよう関係団体へ西市町で負担軽減を要望していきます。